

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 テイカ株式会社
 コード番号 4027 URL <http://www.tavca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清野 學
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 (氏名) 杉江 一彦
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東大

TEL 06-6208-6404

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	25,816	—	872	—	883	—	370	—
20年3月期第3四半期	24,621	9.3	1,524	44.6	1,593	49.7	963	40.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	7.38	—
20年3月期第3四半期	19.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	42,057	21,733	21,733	21,733	51.5	432.23
20年3月期	39,664	22,770	22,770	22,770	57.2	452.57

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 21,658百万円 20年3月期 22,688百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	5.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	2.4	1,200	△40.1	1,160	△42.9	450	△62.1	8.98

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無
- (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第3四半期 | 51,428,828株 | 20年3月期 | 51,428,828株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年3月期第3四半期 | 1,319,305株 | 20年3月期 | 1,295,292株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第3四半期 | 50,120,111株 | 20年3月期第3四半期 | 50,143,085株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月15日に公表いたしました連結業績予想を本資料において修正しております。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。
2. 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱が実体経済へも大きく影響を与え、企業収益の悪化による設備投資の減少や個人消費の低迷等、景気の後退傾向が一段と強まってまいりました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、急激な世界景気の落ち込みに伴う国内外の需要低迷による販売数量の減少に加え、円高の進行や酸化チタンの原燃料価格上昇分の販売価格への転嫁が十分に行えなかったことによる採算性悪化等もあり、売上高は258億1千6百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は8億7千2百万円（前年同期比42.8%減）、経常利益は8億8千3百万円（前年同期比44.6%減）となりました。また四半期純利益は、株式市場の低迷に伴い特別損失として投資有価証券評価損2億3百万円を計上したこと等により、3億7千万円（前年同期比61.6%減）となりました。

(注)連結経営成績に関する定性的情報の前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、420億5千7百万円（前連結会計年度末比23億9千2百万円増）となりました。増減の主なものは、流動資産は、受取手形及び売掛金が金融機関年末休日の影響等で14億6千1百万円増加、たな卸資産が12億8千2百万円増加、固定資産は、酸化チタン関連事業及びその他化学品事業の設備投資などにより有形固定資産が7億7千万円増加、投資その他の資産で12億4百万円減少いたしました。

負債合計は203億2千3百万円（前連結会計年度末比34億3千万円増）となりました。増減の主なものは、流動負債は短期借入金が20億3千5百万円、設備関係支払手形・同未払金が10億6千4百万円それぞれ増加いたしました。

純資産合計は217億3千3百万円（前連結会計年度末比10億3千7百万円減）となりました。増減の主なものは、その他有価証券評価差額金が10億2千6百万円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが、1億2千2百万円の収入となりました。主な要因は、減価償却費を20億5百万円計上しましたが、売上債権が14億9千9百万円、たな卸資産が13億1千1百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。投資活動によるキャッシュ・フローは、19億9千5百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による19億5千8百万円の支出によるものであります。財務活動によるキャッシュ・フローは18億9千5百万円の収入となりました。主な要因は、短期借入金純増額が21億7千万円増加したことなどによるものであります。この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は35億5千8百万円（前連結会計年度末比2百万円増）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表いたしました平成21年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

ただし、当第3四半期連結累計期間において新たな所有権移転外ファイナンス・リース取引が発生しなかったため、損益に与える影響はありません。

なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

(追加情報)

①有形固定資産の耐用年数の変更

法人税法等の改正に伴い、法定耐用年数及び資産区分が見直されました。これに伴い、当社は第1四半期連結会計期間より、機械装置等の耐用年数の変更を行っております。

なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

②役員退職慰労金制度の廃止

当社は、役員退職慰労金制度を廃止したことに伴い、平成20年6月27日開催の定時株主総会において、制度廃止日(平成20年6月27日)までの在任期間に対応する役員退職慰労金を役員退任時に打ち切り支給することを決議いたしました。

これに伴い、同日までの在任期間に応じた役員退職慰労引当金は全額取崩し、打ち切り支給額の未払分202百万円を固定負債の「その他」に計上しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,637	3,634
受取手形及び売掛金	10,758	9,296
有価証券	26	26
商品及び製品	5,529	4,701
仕掛品	403	464
原材料及び貯蔵品	2,316	1,800
その他	601	524
流動資産合計	23,272	20,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,447	4,553
機械装置及び運搬具（純額）	6,389	6,561
その他（純額）	3,241	2,192
有形固定資産合計	14,078	13,307
無形固定資産		
投資その他の資産	74	71
投資有価証券	3,183	5,074
その他	1,471	785
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	4,632	5,836
固定資産合計	18,784	19,215
資産合計	42,057	39,664

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,398	4,717
短期借入金	4,511	2,475
未払法人税等	43	603
賞与引当金	149	320
その他の引当金	1	8
その他	3,611	2,333
流動負債合計	13,714	10,460
固定負債		
長期借入金	4,116	4,089
退職給付引当金	2,287	2,110
その他の引当金	0	217
その他	204	15
固定負債合計	6,609	6,432
負債合計	20,323	16,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,767	6,767
利益剰余金	5,040	4,920
自己株式	△425	△418
株主資本合計	21,237	21,125
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	440	1,467
為替換算調整勘定	△19	96
評価・換算差額等合計	421	1,563
少数株主持分	74	82
純資産合計	21,733	22,770
負債純資産合計	42,057	39,664

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	25,816
売上原価	21,384
売上総利益	4,431
販売費及び一般管理費	3,559
営業利益	872
営業外収益	
受取利息	4
受取配当金	131
その他	53
営業外収益合計	189
営業外費用	
支払利息	119
その他	58
営業外費用合計	178
経常利益	883
特別損失	
固定資産除却損	108
投資有価証券評価損	203
その他	0
特別損失合計	312
税金等調整前四半期純利益	571
法人税、住民税及び事業税	161
法人税等調整額	29
法人税等合計	191
少数株主利益	10
四半期純利益	370

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	571
減価償却費	2,005
受取利息及び受取配当金	△135
支払利息	119
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,499
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,311
仕入債務の増減額 (△は減少)	746
その他	506
小計	1,003
利息及び配当金の受取額	135
利息の支払額	△106
法人税等の支払額	△910
営業活動によるキャッシュ・フロー	122
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,958
投資有価証券の取得による支出	△11
その他	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,170
長期借入れによる収入	1,300
長期借入金の返済による支出	△1,318
自己株式の取得による支出	△7
自己株式の売却による収入	0
配当金の支払額	△249
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2
現金及び現金同等物の期首残高	3,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,558

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	酸化チタン 関連事業 (百万円)	その他 化学品事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	14,242	10,231	1,342	25,816	—	25,816
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	645	2,848	1,440	4,933	(4,933)	—
計	14,887	13,080	2,782	30,750	(4,933)	25,816
営業利益又は営業損失(△)	△75	913	34	871	0	872

(注) 1 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主な製品は次のとおりであります。

- (1) 酸化チタン関連事業……………酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、光触媒用酸化チタン等
- (2) その他化学品事業……………界面活性剤、硫酸、低分子量芳香族スルホン酸、無公害防錆顔料、導電性高分子酸化重合剤、電池セパレータ等
- (3) その他事業……………倉庫業及びエレクトロ・セラミックス製造販売

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)
	金額
I 売上高	24,621
II 売上原価	19,561
売上総利益	5,059
III 販売費及び一般管理費	3,534
営業利益	1,524
IV 営業外収益	
1 受取利息及び配当金	122
2 その他	117
営業外収益合計	240
V 営業外費用	
1 支払利息	126
2 その他	45
営業外費用合計	172
経常利益	1,593
VI 特別利益	51
VII 特別損失	117
税金等調整前四半期純利益	1,526
税金費用	553
少数株主利益	10
四半期純利益	963

(2) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期（平成20年3月期第3四半期）

（単位：百万円）

	酸化チタン関連 事業	その他化学品 事業	その他 事業	計	消去又は全社	連結
売上高	15,176	11,486	2,785	29,448	(4,827)	24,621
営業費用	14,378	10,903	2,671	27,953	(4,857)	23,096
営業利益	797	583	113	1,494	29	1,524